

農林第 378 号
令 別 様 年 月 日 号

株式会社環境保護協会 会長 様

静岡県知事 鈴木 浩吉 様

指定青少年動物園の認定について (福岡)

静岡県指定青少年動物園認定審査会第 8 次第 1 期の認定に基づき、下記の事項について
照会しました。

1.

指定青少年動物園の認定

1. 総論概要

希少野生動物植物のうち、国の法令等による保護がとられておらず、自然災害による絶滅など人為的脅威により危険な状態に陥っている種を、「新潟県希少野生動物植物調査団」第三号第一項の指定により認定する。

ア【希少野生動物植物】



新潟県レッドデータブック（以下、県300冊）において次のカテゴリーに区分された種

区分	認定標準	種数
絶滅危惧ⅠA類	ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの	106
絶滅危惧ⅠB類	ⅠA類に当てはれないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの	204
絶滅危惧Ⅱ類	絶滅の危険が著大している種	308
計		618

2. 総論内容

新潟県希少野生動物植物の指定：絶滅危惧

学名 (学名漢字)	写真	県306 307号	指定理由
シマツバキオウゴン (植物)		絶滅危惧 ⅠA類	湿地は限られており、生体数は少ない。 農地開発による生息域の減少により個体数が著しく減少しており、特に保護を図る必要があるため。
オキナブシノヂ (植物)		絶滅危惧 ⅠA類	生地の限られており、生体数は少ない。 農地開発による生息域の減少により個体数の高確率が著しく減少しており、特に保護を図る必要があるため。
アサギツメトウモロコシ (植物)		絶滅危惧 ⅠB類	生地の減少は生息域の制限で、湿地に限られており、生体数は少ない。 農地開発による生息域の減少により個体数が著しく減少しており、特に保護を図る必要があるため。

<p>ホトトギスツモリソウ (植物)</p>		<p>絶滅危惧 ⅠB類</p>	<p>県内の個体は分布の限 界で、正体は限られてお り、個体数は少ない。 愛好家等による盗掘等 により個体数が著しく減 少しており、特に保護を 図る必要があるため。</p>
<p>五葉菜の花 (植物)</p>		<p>絶滅危惧 ⅠB類</p>	<p>産地は限られており、 個体数は少ない。 愛好家等による盗掘等 により個体数が著しく減 少しており、特に保護を 図る必要があるため。</p>

3. 絶滅希少野生動植物の取組

(1) 取組

① 保護等の取組（条例第11条）

- 採集している個体の捕獲、採集、栽培又は輸送の禁止
- 五葉菜の花類の盗掘等の禁止

② [前条]（条例第12条）に基づいて絶滅又は50%以下に減少した個体

② 保護等の取組（条例第12条）

- 採集研究、繁殖目的のための採集等は許可が必要

(2) 指定状況

植物7種、爬虫類1種、淡水魚類2種、両生類1種、計11分類群、11種指定

No.	分類群	種名	県RDBの分類
1	植物	ホトトギス	絶滅危惧ⅠA類
2	植物	ホトトギスツモリソウ	絶滅危惧ⅠA類
3	植物	キバナツモリソウ	絶滅危惧ⅠA類
4	植物	クカネマンテン	絶滅危惧ⅠA類
5	植物	オオテクラソウ	絶滅危惧Ⅱ類
6	植物	キンロバイ(ハクロバイを含む)	絶滅危惧Ⅱ類
7	植物	カキノバイ	絶滅危惧ⅢB類
8	爬虫類	アカウミガメ	絶滅危惧ⅠA類
9	淡水魚類	カラバクモロコ	絶滅危惧ⅠA類
10	淡水魚類	ヤリダナゴ	絶滅危惧ⅠA類
11	両生類	ヒメヒカゲ	絶滅危惧ⅠA類

(3) 新定基準

電機室用受電種

- ア 原則的に掲載された施設用受電種（換気用供電系統、工務用、北線）
- イ 旧法令により採択されているもの

電機室用の取り込み

静岡県庁が「電機室用受電種」の役割、輸送用などの日調電圧降下から
保護を受けかねないことから条件に当てはまる種を選定

- ア 近年の地震、生育状況が顕著で急いでいる種
- イ 国の研究費等の下地が得られた種
- ウ 静岡県産の野菜生産者の団体基本方針に基づく種の出産交付の開始の
高い種

※静岡県庁独自の施設用受電種
※多数発生し、産卵の回数を増やし、産卵の回数などを増やす種

諮問事項

指定希少野生動植物の 指定について

環境局 自然保護課

富国斉徳の理想郷—しずおか
ふじのくに



説明内容

- 1 静岡県希少野生動植物保護条例の概要
- 2 諮問事項
指定希少野生動植物の指定について
- 3 今後のスケジュール

富国斉徳の理想郷—しずおか
ふじのくに



1 静岡県希少野生動植物保護条例の概要

(平成23年4月1日施行)

(目的) 県内の生物の多様性を保全し、人と野生動植物とが共生する豊かな自然環境を県民共有の貴重な財産として次代に継承すること

(内容) ① 個体の取扱いに関する規制

今回の
諮問対象

・指定希少野生動植物の個体の捕獲等の禁止

・特定希少野生動植物事業の規制

② 生息地等の保護に関する規制

・生息地等保護区の指定

③ 保護回復事業

・保護回復事業計画の策定と実施

静岡県

ふじのくに

【指定希少野生動植物】

希少野生動植物^{III}のうち、知事が特に保護を図る必要があると認めて静岡県希少野生動植物保護条例第8条第1項の規定により指定したもの

※希少野生動植物

静岡県レッドデータブック(以下、県RDB)において次のカテゴリーに区分された種

区分	基本概念	種数
絶滅危惧ⅠA類	ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの	106
絶滅危惧ⅠB類	ⅠA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの	204
絶滅危惧Ⅱ類	絶滅の危険が増大している種	308
計		618

環境政策の理想郷—しずおか

ふじのくに

【指定希少野生動植物の取扱い】

(1) 捕獲等の禁止(条例第11条)

- ・生きている個体の捕獲、採取、殺傷又は損傷の禁止
- ・違法捕獲個体の譲渡等の禁止



【罰則(条例第40条)】

- ・1年以下の懲役又は50万円以下の罰金

(2) 捕獲等の許可(条例第12条)

- ・学術研究、繁殖目的のための捕獲等は許可が必要



【指定希少野生動植物の指定状況】

平成24年度～ 植物等4分類群 11種指定

No.	分類群	種名	県RDBカテゴリー
1	植物	ホテイラン	絶滅危惧ⅠA類
2	植物	ホテイアツモリソウ	絶滅危惧ⅠA類
3	植物	キバナアツモリソウ	絶滅危惧ⅠA類
4	植物	タカネマンテマ	絶滅危惧ⅠA類
5	植物	オオサクラソウ	絶滅危惧Ⅱ類
6	植物	キンロバイ(ハクロバイを含む)	絶滅危惧Ⅱ類
7	植物	カニコバイモ	絶滅危惧Ⅲ類
8	爬虫類	アカウミガメ	絶滅危惧ⅠA類
9	淡水魚類	カツバタモロコ	絶滅危惧ⅠA類
10	淡水魚類	ヤリタナゴ	絶滅危惧ⅠA類
11	鳥類	ヒメヒカゲ	絶滅危惧ⅠA類



2 諮問事項

(1) 指定理由

- ① 令和2年度の県RDBの改訂により、現状の生息範囲や生息状況等から絶滅の恐れがある種(絶滅危惧ⅠA類、ⅠB類、Ⅱ類)が判明
- ② 種の保存法など他法令により保護されておらず、愛好家等による盗掘など人為の影響により種が危険な状況に晒されている。



特に保護を図る必要がある「希少野生動植物」の種を「指定希少野生動植物」に追加指定することが必要

富岡有数の環境部 - しずおか

ふじのくに

(2) 指定希少野生動植物の指定基準

① 指定対象種

- ア 県RDBに掲載された絶滅危惧種(絶滅危惧ⅠA類、ⅠB類、Ⅱ類)
- イ 他法令により保護されていないもの

② 指定種の絞り込み

静岡県自然環境保護調査委員会[※]の植物、哺乳類など9調査部会から推薦を受けた種のうち、下記条件の全てに当てはまる種を選定

- ア 近年の生息・生育状況が確認できている種
- イ 利害関係者等の了解が得られた種
- ウ 静岡県希少野生動植物保護基本方針に基づく種の選定条件の評価の高い種

※静岡県自然環境保護調査委員会
希少野生動植物の区分や指定候補種の選定などを行う委員会

富岡有数の環境部 - しずおか

ふじのくに

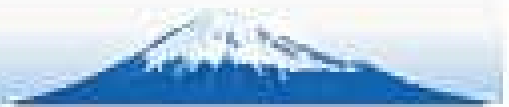
(3) 希少野生動植物保護基本方針に基づく評価

県の調査に基づき、以下の評価結果とする。

種名	学名	種別	分布	希少性				保護の必要性					評価		
				希少性	希少性	希少性	希少性	希少性	希少性	希少性	希少性	希少性			
1. 2. 3.	ミヤマハナウラボ	植物	希少	希少	希少	希少	希少	希少	希少	希少	希少	希少	希少	希少	希少
	キタダケテンダ	植物	希少	希少	希少	希少	希少	希少	希少	希少	希少	希少	希少	希少	希少
4. 5.	アカイシリンドウ	植物	希少	希少	希少	希少	希少	希少	希少	希少	希少	希少	希少	希少	希少
	フキ	植物	希少	希少	希少	希少	希少	希少	希少	希少	希少	希少	希少	希少	希少
6.	ウラボシ	植物	希少	希少	希少	希少	希少	希少	希少	希少	希少	希少	希少	希少	希少

富国自然の理想郷—しずおか

ふじのくに



(4) 今回指定の指定希少野生動植物：植物 5種

種名 (分類群)	写真	県RDS がコリー	指定理由
ミヤマハナウラボ (植物)		絶滅危惧 ⅠA類	<p>生地は限られており、個体数は少ない。</p> <p>愛好家等による盗掘等により個体数及び産地が著しく減少しており、特に保護を図る必要があるため。</p>
キタダケテンダ (植物)		絶滅危惧 ⅠA類	<p>生地は限られており、個体数は少ない。</p> <p>愛好家等による盗掘により個体数及び産地が著しく減少しており、特に保護を図る必要があるため。</p>
アカイシリンドウ (植物)		絶滅危惧 ⅠB類	<p>県内の個体は分布の南限で、産地は限られており、個体数は少ない。</p> <p>愛好家等による盗掘により個体数が著しく減少しており、特に保護を図る必要があるため。</p>

(4) 今回指定の指定希少野生動植物：植物 5種

種名 (分類群)	写真	県RDB がコリー	指定理由
オノエリンドウ (植物)		絶滅危惧 I B類	県内の個体は分布の南限で、 産地は限られており、個体数は 少ない。 愛好家等による盗掘等により 個体数が著しく減少しており、 特に保護を図る必要があるため。
タカネシダ (植物)		絶滅危惧 I B類	産地は限られており、個体数は 少ない。 愛好家等による盗掘等により 個体数が著しく減少しており、 特に保護を図る必要があるため。

富国自然の理想郷—しずおか

ふじのくに

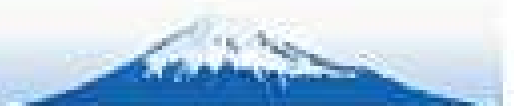


3 今後のスケジュール

月	内容
9月	環境審議会への諮問
10月	環境審議会希少野生動植物保護部会での審議
11月	指定希少野生動植物の指定の案の縦覧
1月～2月	環境審議会からの答申 告示

富国自然の理想郷—しずおか

ふじのくに



ミヤマシダ科 *Asplenium* 属 *Asplenium* 属 *Asplenium* 属 *Asplenium* 属
 絶滅危惧IA類 (CR) (要件①②③) 変更なし オキヤスリ科 Ophioglossaceae
 2004年版レッドデータブック 絶滅危惧IA類 (CR) 環境省カテゴリー 絶滅危惧IA類 (CR)

1. 種の解説

小型の長緑性シダ植物。根茎は短く、葉を1枚出す。葉は担葉体・栄養葉。胞子葉に分化する。担葉体は葉の長さの6~8割を占め、栄養葉は広卵形で2回羽状に深裂、羽片は披針形に深裂。裂片は長楕円形となる。胞子葉は栄養葉と同長くないで円形。長さ3~6 cmほどで、2回羽状に分岐する。

2. 分布

国外ではロシア、中国東北部、シベリア、ヨーロッパ、カナダ、北米などに分布する。国内では、北海道、東北地方南部、中部地方などに分布する。県内では、東部（富士山）、中部（南アルプス）に分布する。

3. 生育環境

高山帯の沟陽の岩間、草原などに生育する。

4. 生育状況

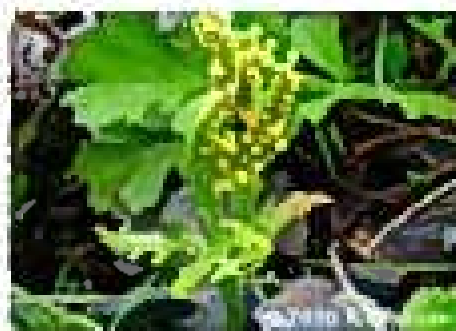
産地、個体数ともにきわめて少ない。胞子によって繁殖するが生育適地は少ない。

5. 減少の主要因と脅威

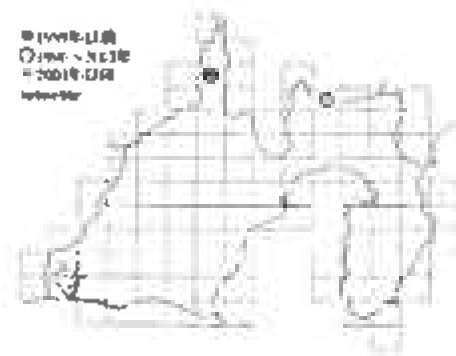
自然の遷移 (54) と踏みつけ (51) による減少が懸念される。

6. 保護対策

登山道などで踏みつけなど人為による減少を防ぐ必要がある。
 (細倉哲徳・内藤宇佐彦)



静岡市 2004年8月10日 宮崎 大



キタダケデンド *Woodsia subcordata* Turcz

ミヤマシダ科 *Asplenium* 属 *Asplenium* 属 *Asplenium* 属 *Asplenium* 属 イワデンド科 Woodsiaceae
 絶滅危惧IA類 (CR) (要件①②③) 変更なし 環境省カテゴリー 絶滅危惧IA類 (CR)

1. 種の解説

高山性の長緑性シダ。葉は長さ10cmほどに達し、根茎は直立状を呈する。一見して、細葉イワデンドの雑草があるが、羽片は3~6裂、葉柄の関節は、葉柄の半分からやや上の所にある。基部にやや高な鱗片があり、根茎。葉柄基部の羽片は、羽状披針形から披針形を呈する。

2. 分布

国外では朝鮮半島、中国、ロシア東部に、国内では北海道、本州（中部地方南アルプスと八ヶ岳）の高山に分布する。県内では中部（南アルプス）に分布する。

3. 生育環境

高山帯の岩の割れ目などに、きわめて稀に生育する。

4. 生育状況

近年生育が確認されておらず、生育環境の悪化、その他なんらかの理由で、県内では絶滅している可能性もあることも懸念される。

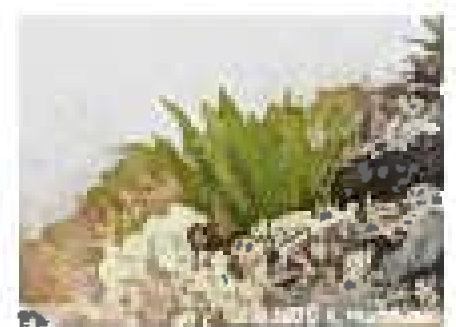
5. 減少の主要因と脅威

岩場の岩壁崩落など生育環境悪化 (55)、登山者の増加 (51) による絶滅が危惧される。

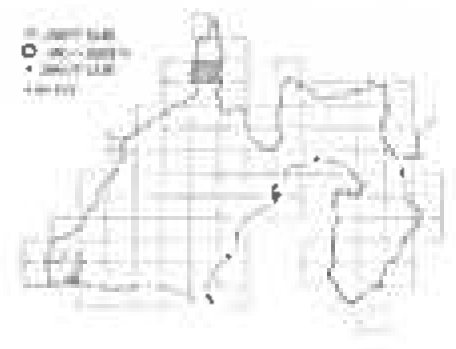
6. 保護対策

生育地の再確認が急務である。早急な保護対策、登山道の指定などの対策により、絶滅回避をする必要がある。

(細倉哲徳)



山梨県 2017年9月3日 室伏 勇一



アカシシ lindoウ *Gentianopsis yabei* (Takeda et H. Hara) Ma et al. 1996

静岡系カテゴリー 絶滅危惧1B類 (EN) (条件=①②) 変更なし リンドウ科 Gentianaceae
 [2004年版カテゴリー 絶滅危惧1B類 (EN) ; 環境省カテゴリー 絶滅危惧1B類 (EN)]

1. 種の解説

一年～越年草。高さ4～30 cm、時に60 cm。茎は上部で分枝する。基葉は無柄で茎を抱き、最下部の葉は大きく広披針形で長さ1 cm。花期は8～9月。花は葉頂や上部の葉腋から、2～12 cmの花柄を伸ばし単生する。花冠は長さ15～25 mm、裂片は片巻状に並び青紫色で上側の縁は平たくなる。

2. 分布

日本固有種かつ南アルプス固有変種で、本州（中部地方）に分布する。県内では中部（南アルプス）に分布する。

3. 生育環境

高山帯の尾根周辺で砂礫地の低草牧地に生育する。

4. 生育状況

産地は局限する。株数もきわめて少ない。

5. 減少の主要因と脅威

植生遷移 (54) とマニアによる採取 (41) が脅威である。

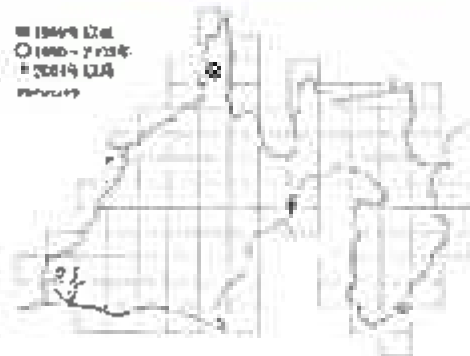
6. 保護対策

本県の個体は、環境省新宿御苑に種子が保存され、保護増殖が図られている。産地情報の公開に配慮して、さらなる自生地の行政的な保護が必要である。

(山崎由晴・宮崎一夫)



静岡市 2010年8月31日 島茂保雄



ホシエシ lindoウ *Gentianella amarella* (L.) Gussone

静岡系カテゴリー 絶滅危惧1B類 (EN) (条件=①②) 変更なし リンドウ科 Gentianaceae
 [2004年版カテゴリー 絶滅危惧1B類 (EN) ; 環境省カテゴリー 絶滅危惧1B類 (EN)]

1. 種の解説

二年草。高さ1～20 cm。葉は対生して茎を抱く。花期は8～9月。萼筒は長さ4～6 mm。花は茎の上部に数個つけ、上向きから横向きに開く。花冠は筒形で長さ2～2.5 cm、紅紫色である基部に白色がある。花冠裂片は三角形で斜開する。内片は細かく中裂する。

2. 分布

日本固有変種で、北海道、本州（中部地方）に分布する。県内では中部（南アルプス）に分布し、分布の南限である。

3. 生育環境

高山帯の砂礫地で、草木が疎らで湿潤な草場に生育する。

4. 生育状況

産地は局限していて、産量もきわめて少ない。

5. 減少の主要因と脅威

産地がきわめて限定され (61)、人の踏みつけ (51) や畜糞 (41) による個体数減少が指摘されている。加えて、シカの食害 (52-1)、植生変化 (54) が発生している。

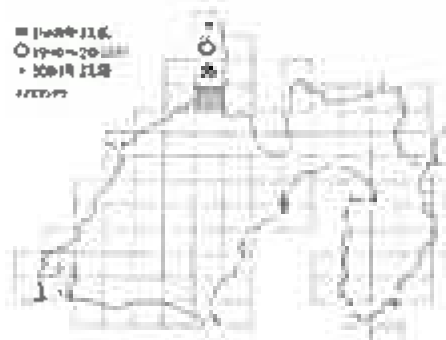
6. 保護対策

本県の個体は、環境省新宿御苑に種子が保存され、保護増殖が図られている。産地情報の公開に配慮して、さらなる自生地の行政的な保護が必要である。

(山崎由晴・宮崎一夫)



静岡市 2004年8月7日 宮崎一夫



オウゴンシダ *Polytaenichum yamanumaense* (Makino) Hiroe

静岡県カテゴリー 絶滅危惧ⅠB類 (EN) (要件-①②) 変更なし

シダ科 *Bryopteridaceae*

[2004年版カテゴリー] 絶滅危惧ⅠB類 (EN)

[環境省カテゴリー] 絶滅危惧ⅠA類 (CR)

1. 種の解説

小型の夏緑性シダ。根茎は短く密に鱗片を被る。葉柄はやや太く長さ3~10 cm、葉が枯れた後も残る。葉身は半羽状複葉の線形で長さ5~20 cm、葉面は菱形状でわずかに波打する。不定芽はできない。胞子嚢群は中肋よりにつき圓環は中心でつく。近似種のイナダシダは葉柄が細く、包膜は中心からずれてつく。

2. 分布

国外では中国、台湾、南アジアに、国内では本州中部(山梨県、長野県、静岡県)に分布する。県内では中部(南アルプス)と東部(富士山)に分布する。

3. 生育環境

亜高山から高山の岩上や岩隙に生育する。

4. 生育状況

産地は局所的である。産量はきわめて少ない。大きな岩の隙間や下部に生育する。南アルプスの産地は既知であるが、富士山は新産地である。

5. 減少の主要因と脅威

岩塊の崩壊(55)や植生遷移(54)が生育の圧力である。登山者の踏圧(51)や採取(41)も脅威である。

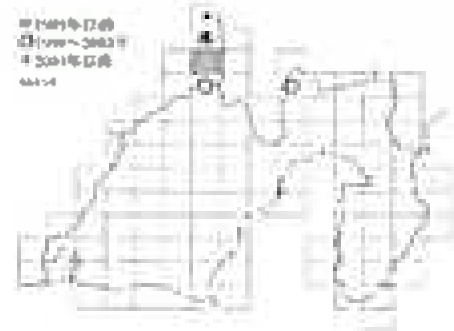
6. 保護対策

産地に踏圧を与えないように登山道の迂回整備をする。

(宮崎一夫)



静岡県 2004年8月7日 宮崎一夫



《分電区レッドゾーンマップにおけるカテゴリー①分》

ラゲージコード分	電圧状態
電圧①(X)	①分電区に既に電圧がたまっている種
電圧②(Y)	電圧①と同様でたまっている種
電圧③(Z)	電圧の蓄積が済んでいる種
①A区(①A)	ごく近い将来における電圧での電圧の蓄積が おそれ高いもの
①B区(①B)	①A区ほどではないが、近い将来における電 圧での電圧の蓄積が高いもの
電圧④(W)	電圧の蓄積が済んでいる種
電圧⑤(V)	電圧蓄積が既済に済
電圧⑥(U)	計画から電圧の蓄積が不足している種
電圧⑦(T)	電圧が不足している種で、電圧の おそれが高いもの
空白条件(N)	本来は①分電区
②A区(②A)	電圧が不明な種
②B区(②B)	電圧の蓄積が小さいが、急な電圧蓄積 が懸念される種
②C区(②C)	その他の場合は電圧蓄積が済む種